

平成 27 年度滋賀県近代美術館学芸職員採用選考第 1 次考查受験案内

平成 27 年 6 月 1 日
滋 賀 県

第 1 次考查筆記試験期日および場所

平成 27 年 7 月 12 日（日） 滋賀県庁（大津市京町四丁目 1 番 1 号）

○ 受付期間

（持参の場合）

平成 27 年 6 月 1 日（月）～平成 27 年 6 月 30 日（火）

（郵送の場合）

平成 27 年 6 月 1 日（月）～平成 27 年 6 月 28 日（日）（消印有効）

○ 問い合わせ先

滋賀県総合政策部文化振興課 電話（077）528-3346

〒520-8577 大津市京町四丁目 1 番 1 号

※ 申込書交付、受付、問い合わせは、土曜日および日曜日を除く執務時間（8 時 30 分～17 時 15 分） 中をお願いします。

1 採用職種 学芸員または学芸技師

2 採用予定人員 近・現代美術を担当する学芸職員 1 名

3 受験資格

（1）次のいずれにも該当する者が受験できます。

ア 博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）第 5 条に規定する学芸員の資格を有する者、美術館等において展覧会の企画等の職務に従事した期間が 3 年以上である者またはこれに相当する展覧会の企画等の経験を有する者

イ 昭和 55 年 4 月 2 日以降に生まれた者

ウ 大学卒業程度の学力を有する者

エ 近・現代美術に関し、学芸職員として必要な知識および見識を有する者

（2）次のいずれかに該当する者は、受験できません。

ア 成年被後見人または被保佐人（準禁治産者を含む。）

イ 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでまたはその執行を受けることがなくなるまでの者

ウ 滋賀県職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から 2 年を経過しない者

エ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法またはその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、またはこれに加入した者

4 勤務の条件

(1) 採用の時期 平成 27 年 10 月 1 日

(2) 勤務場所 滋賀県立近代美術館および滋賀県庁

当分の間は、平成 30 年から平成 31 年までの間に新たな開館を目指す美術館の再整備に関する業務に従事していただきます。

(3) 給与等

ア 給料は、4 年制大学を卒業し、学芸員の資格を有する者にあつては、月額 192,190 円（地域手当を含む。）で、その他に扶養手当、通勤手当、期末手当、勤勉手当等がそれぞれの支給要件に基づき支給されます。また、経歴その他に応じて、上記の額は変更されます。なお、この額は、平成 27 年 4 月 1 日現在のものです。

イ 昇給は、原則として毎年 1 回行われます。

(4) 学芸員資格を有しない者にあつては、採用後速やかに学芸員資格を取得する必要があります。

5 第 1 次考査

(1) 日時および場所

試 験		日 時	場 所
第 1 日	筆記試験	平成 27 年 7 月 12 日(日) 9 時 45 分から 15 時頃まで (集合時間 9 時 15 分)	滋賀県庁
第 2 日	口述試験	平成 27 年 8 月 4 日(火)	

※ 第 2 日に実施する口述試験は、筆記試験の成績上位者についてのみ行います。

(2) 方法および内容 大学卒業程度で、次の方法により行います。

試 験		種 目	内 容
第 1 日	筆記試験	教 養 試 験	択一式により、公務員として必要な社会、人文および自然の各科学ならびに現代の社会に関する知識（知識分野）ならびに文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈等に関する能力（知能分野）について、筆記試験を行います。
		論 文 試 験	専門的な知識、識見、思考力、表現力等について、筆記試験を行います。
第 2 日	口述試験	口 述 試 験 (面接)	美術館学芸職員としての知識および適性ならびに公務員としての素養等について、試験を行います。

(3) 結果発表

	時 期	方 法
第 1 次考査第 1 日成績上位者	平成 27 年 7 月下旬 (具体的な日時は、第 1 次考査第 1 日に試験会場で通知します。)	県ホームページに掲載するほか、成績上位者に通知します。

第1次考查合格者	平成27年8月下旬 (具体的な日時は、第1次考查 第2日に試験会場で通知しま す。)	県ホームページに掲載する ほか、受験者全員に通知し ます。
----------	---	-------------------------------------

6 受験手続および受付期間

(1) 提出書類

ア 選考申込書 1通 (所定の用紙)

交付場所 滋賀県総合政策部文化振興課 大津市京町四丁目1番1号

※ 郵便で請求できます。

角形2号の返信用封筒(宛先を明記し、140円切手を貼付したもの)を「学芸職員採用選考申込書請求」と朱書した封筒に入れて請求してください。

※ この採用選考に係る試験案内、様式等は、滋賀県立近代美術館のホームページ(<http://www.shiga-kinbi.jp/>)からダウンロードできます。

イ 写真 1葉 (最近6か月以内に撮影したものを選考申込書に貼ること。)

ウ 郵便はがき 1枚 (宛先として住所、氏名および郵便番号を記入すること。)

※ 受験番号等の通知に使用します。

(2) 提出先 滋賀県総合政策部文化振興課 〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号

(3) 受付期間

ア 持参の場合 提出書類は、平成27年6月1日(月)から同月30日(火)まで(土曜日および日曜日を除く。)の執務時間(8時30分から17時15分まで)中に受け付けます。

イ 郵送の場合 提出書類は、平成27年6月28日(日)までの消印のあるものに限って受け付けます。封筒の表に「採用試験」と朱書し、必ず簡易書留または特定記録郵便により送付してください。

(4) 受験番号の通知 受付期間終了後、出願時に提出された郵便はがきを用いて受験番号等を通知します。平成27年7月8日(水)までに到着しない場合は、滋賀県総合政策部文化振興課に連絡してください。

7 日本国籍を有しない者の任用

(1) 日本国籍を有しない者は、「公権力の行使または公の意思の形成への参画に携わる公務員のうち、職務の内容または権限と統治作用との関わり方の程度が強い公務員には日本国籍が必要であり、それ以外の公務員となるためには必ずしも日本国籍を必要としない」という基本原則を踏まえた任用が行われます。

(2) 日本国籍を有しない者は、採用時に当該職務に従事可能な在留資格がない場合には採用されません。

8 その他

(1) 第1次考查合格者については、平成27年9月上旬に滋賀県人事委員会で実施される選考を受けていただきます。

(2) 選考の方法は、口述試験(主として人物についての面接試験)、適性検査(公務員として必要な適性についての検査)等ですが、詳しくは、第1次考查合格者に対して通知します。

(3) 滋賀県人事委員会で実施される選考の合格者には、平成27年9月中旬に採用の通知をします。

(4) 問い合わせ先

滋賀県総合政策部文化振興課

〒520-8577 大津市京町四丁目1番1号 電話 077-528-3346

平成27年度滋賀県近代美術館学芸職員採用選考申込書

私は、平成27年度滋賀県近代美術館学芸職員採用選考に申し込みます。

なお、私は地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当いたしておりません。また、この申込書および申し込みに際して提出する全ての書類の記載事項は、事実と相違ありません。

(記入日) 平成 年 月 日

応募職種		近代美術館学芸職員（ 近・現代美術 ）		写真をはる位置 1 縦 36～40mm 横 24～30mm 2 本人半身胸から上 3 写真裏面に氏名を記入 4 裏面のりづけ	
ふりがな		外国籍 外国籍の方のみレ印 を記入してください ☐			
氏名					
(氏名は必ず自署して下さい)					
生年 月日	年 月 日生 (満 才)	性 別			
ふりがな					
現住所 〒()					
電 話 — —					
携帯電話 — —					
ふりがな					
連絡先(現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入) 〒()					
電 話 — —					

[illegible]

記入上の注意 1 鉛筆以外の青または黒の筆記具で記入してください。
2 数字はアラビア数字で、文字はくずさず正確に書いてください。

年	月	学歴（高等学校入学以降）・職歴

年	月	免許・資格

年	月	学芸員等としての業績（担当した展覧会・執筆論文等）

その他特記事項
--

※欄内に書ききれない場合は、任意の別紙（A 4 横書き）に記載のうえ添付してください。

《記入例》

平成27年度滋賀県近代美術館学芸職員採用選考申込書

私は、平成27年度滋賀県近代美術館学芸職員採用選考に申し込みます。

なお、私は地方公務員法第16条に規定する欠格条項に該当いたしておりません。また、この申込書および申し込みに際して提出する全ての書類の記載事項は、事実と相違ありません。

(記入日) 平成27年 6 月 1 日

応募職種	近代美術館学芸職員 (近・現代美術)		
ふりがな	し が た ろ う	外国籍	外国籍の方のみレ印を記入してください
氏名	滋 賀 太 郎		☐
(氏名は必ず自署してください)			
生年月日	昭和62年(1987年)5月5日生 (満 28 才)	性別	男
写真をはる位置 1 縦 36～40mm 横 24～30mm 2 本人単身胸から上 3 写真裏面に氏名を記入 4 裏面のりづけ			
ふりがな	とうきょうとちよだくまるのうち		
現住所	〒(100 — 0005) 東京都千代田区丸の内3-8-1		
電 話	03 — 1234	—	5678
携帯電話	090 — 1234	—	5678
ふりがな	しがけんおおつしきょうまち		
連絡先	(現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入) 〒(520 — 8577) 滋賀県大津市京町4丁目1-1		
電 話	077 — 524	—	1121

年	月	学歴(高等学校入学以降)・職歴
		学 歴
平成14年(2002年)	4	滋賀県立〇〇高等学校〇〇科入学
平成17年(2005年)	3	滋賀県立〇〇高等学校〇〇科卒業
平成17年(2005年)	4	私立〇〇大学〇〇学部〇〇学科入学
平成21年(2009年)	3	私立〇〇大学〇〇学部〇〇学科卒業
平成21年(2009年)	4	私立〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻入学
平成23年(2011年)	3	私立〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻修了
		職 歴
平成23年(2011年)	4	〇〇〇美術館(公開承認施設)勤務
平成27年(2015年)	3	〇〇〇美術館退職

記入上の注意 1 鉛筆以外の青または黒の筆記具で記入してください。
2 数字はアラビア数字で、文字はくずさず正確に書いてください。

年	月	学歴（高等学校入学以降）・職歴

年	月	免許・資格
平成17年(2005年)	8	普通自動車一種運転免許取得
平成21年(2009年)	3	学芸員資格取得

年	月	学芸員等としての業績（担当した展覧会・執筆論文等）
平成23年(2011年)	10	〇〇〇展
平成24年(2012年)	10	〇〇〇展
平成25年(2013年)	3	「〇〇の研究」「美術研究」〇〇号
平成26年(2014年)	2	「〇〇についての基礎的研究」〇〇書店

その他特記事項

※欄内に書ききれない場合は、任意の別紙（A4横書き）に記載のうえ添付してください。

外国語第一部門（英語）専任教員の公募について

駒澤大学総合教育研究部外国語第一部門は、下記の通り専任教員を公募します。

1. 採用職種：助教、講師、准教授または教授
2. 採用人数：2名
3. 採用予定日：2016年4月1日
4. 仕事内容：本学駒沢及び玉川キャンパスにおいて英語関連科目を担当する。そして、外国語第一部門の専任教員と積極的に連携して、各種の業務・運営・校内行事などに参画する。
5. 待遇：
給与は駒澤大学の規定による。私学共済制度（年金、健康保険）及び雇用保険加入。
6. 応募資格：採用予定日の時点で以下の(i)～(iv)の条件を満たす方。
 - (i) 博士後期課程を修了していること、または同課程を満期退学や単位取得退学していること。
(注意) 上記と同程度の能力及び業績を有すると認められる方も審査の対象とする。
 - (ii) 大学や高等学校などの正規教育機関で1年以上の教育歴を持つこと。
 - (iii) 英語を使った英語授業の運営ができる十分な語学力を持つこと。
 - (iv) 様々な学内業務等に参画できる十分な日本語能力を持つこと（日本語能力試験（JLPT）のN2レベル以上相当の語学力が望ましい）。
7. 応募書類：
 - (i) 略歴書（学歴、研究歴、教育歴、留学歴、生年月日、連絡先（E メールアドレス及び電話番号）など）、A4判（片面のみ使用）で2枚以内。日本語で作成すること（様式自由）。なお、写真を必ず添付すること。
(注意) 語学力を公的に証明する各種資格試験の成績や結果などについて記載する場合は上記に含めること（2年以上前のスコアでも構わない）。
 - (ii) これまでの研究について（研究テーマ、研究の経緯、今後の研究計画など）の文章をA4判（片面のみ使用）1枚以内で作成すること（様式自由）。
(注意) 日本語を母語とする方は英語で、日本語が母語でない方は日本語で書くこと。

(iii) 英語教育についての考え方及び具体的な教育実践報告（授業活動や指導法、評価法など）の文章を A4 判（片面のみ使用）1 枚以内で作成すること（様式自由）。

（注意）日本語を母語とする方は日本語で、日本語が母語でない方は英語で書くこと。

(iv) (i)～(iii)に記載された事項や内容などについて照会できる人物 **2 名** の氏名、現職、連絡先などを記載した文書 1 通（様式自由）。（大学院に在籍中の応募者は現在の指導教官を 2 名の内の 1 名に必ず含めること。）

（注意）審査の過程で上記 2 名それぞれからの推薦書の提出を求める。

以上の書類を書面で下記の提出先まで書留郵便で郵送すること。

〒154-8525 東京都世田谷区駒沢 1-23-1 駒澤大学第一研究館 外国語部門事務室

（封書表面に「平成 27 年英語（総合）専任教員応募書類在中」と朱書きし、必ず「一般書留」ないし「簡易書留」郵便で送付すること。）

提出締め切り：**2015 年 7 月 1 日（水）必着**

8. 選考と結果通知

書類選考を通過した応募者に対して、10 月上旬までに面接及び模擬授業による審査について連絡する。

（注意）審査の過程で追加の書類の提出を求める。

9. 問い合わせ先

駒澤大学 総合教育研究部 外国語第一部門 人事委員会

eigo_jinji@komazawa-u.ac.jp

（注意）選考状況や結果についての問い合わせには応じない。

10. 注意事項

(i) 応募書類や応募方法に不備のある場合は審査対象としません。

(ii) 提出書類は原則として返却しません。

(iii) 応募時に提出された個人情報は、本選考の目的以外に使用しません。

Open Position: Full-time Faculty of English

The Department of English, Faculty of Arts and Sciences, Komazawa University invites applications for the following positions.

1. Full-time Assistant Professor (Jokyo), Lecturer (Koshi), Associate Professor or Professor, depending on qualifications and experience.
2. Number of positions: 2
3. Starting date: 1 April 2016
4. Duties and tasks:
 - (i) Teaching English as a Foreign Language at the Komazawa Campus and the Tamagawa Campus.
 - (ii) Attending meetings, participating in extra-curricular activities and performing administrative and examination-related tasks undertaken by faculty members.
 - (iii) Translating, proofreading and editing in-house documents.
 - (iv) Designing, developing and managing the Department's curriculum.
5. Salary and benefits:
 - (i) Salary in accordance with the Komazawa University regulations.
 - (ii) Pension and health insurance (The Promotion and Mutual Aid Corporation for Private Schools of Japan).
 - (iii) Employment insurance.
6. Qualifications (as of 1 April 2016, all of the following must be satisfied):
 - (i) PhD or MA/MSc/MPhil with equivalent academic achievements.
 - (ii) Minimum one year experience in teaching English to English learners at university or high school level.
 - (iii) Sufficient English proficiency to conduct classes in English.
 - (iv) Sufficient Japanese proficiency to participate in a variety of departmental activities (Level N2 or above of the Japanese Language Proficiency Test (JLPT) is desirable).
7. Application documents:
 - (i) A recent curriculum vitae in Japanese listing academic career, teaching experience, overseas study experience and academic achievements, along with date of birth, contact details (e-mail, post address and telephone number) and an ID photograph (1 copy within two pages of A4-sized paper, single-sided print, free format).

Note: Please provide results of language proficiency tests, if applicable. Scores obtained more than two years ago are acceptable.

- (ii) An essay on the applicant's research experience, interests and plans for future research (1 copy within one page of A4-sized paper, single-sided print, free format).

Note: Non-native speakers of Japanese must write this essay in Japanese, while native-speakers of Japanese must write it in English.

- (iii) An essay on the applicant's perspective on teaching English and their practical experience of teaching English, such as class activities, teaching methods and academic assessment (1 copy within one page of A4-sized paper, single-sided print, free format).

Note: Non-native speakers of Japanese must write this essay in English, while native-speakers of Japanese must write it in Japanese.

- (iv) The names of two references with their respective affiliations and contact details, including e-mail or telephone number (free format).

Note: University graduate students must include at least one supervisor among the references. We may request letters of recommendation from the referees.

Interested applicants are requested to send their application materials via post to:

Department of Languages Office, Research Building No. 1, Komazawa University
1-23-1 Komazawa
Setagaya-ku, Tokyo
154-8525 JAPAN

Please ensure to send your application by registered mail (kakitome yubin or kan-i kakitome yubin) and mark it "Application Materials Enclosed (Sogo Kyoiku Kenkyu-bu, English)" in red on the front of the envelope.

Application deadline: All applications must be received by 1 July 2015.

8. Selection process and notification of result:

After screening of the applications, short-listed candidates will be informed of the results by the beginning of October. Short-listed candidates will then be asked to present a demonstration lesson and will be interviewed in both Japanese and English at a later date in October 2015.

Note: After receipt of initial application materials, requests may follow for additional items.

9. Contact details:

For any queries regarding this recruitment, please e-mail:

eigo_jinji@komazawa-u.ac.jp

Note: Any query regarding the selection process will not be entertained.

10. Additional information:

(i) Incomplete applications will not be processed.

(ii) Submitted documents will not be returned.

(iii) Application documents and personal information provided will only be used for the purpose of this recruitment.

神戸学院大学人文学部人文学科文学・文芸領域 教員募集要項

主な担当科目	「作品論」「文化コース基礎演習」「文学・文芸専攻演習Ⅰ～Ⅳ」「卒業研究演習」など日本古典文学を主とする専門教育科目、「人文入門演習」などの基礎専門教育科目、「日本文学史概論」「古典文講読」「教職実践演習（国語）」などの教職課程科目、「日本の歴史と文化」などの共通教育科目、および「表現言語論方法論」などの大学院科目等。
採用予定人数	1名
募集職名	准教授または教授
採用予定日	2016年4月1日
応募資格	次のA、B、C、Dのすべての条件を満たす者 A 次の①～③のいずれかに該当する者 ①博士の学位を有する者 ②大学において講師、准教授、あるいは教授として相当年数の経験を有し、研究上および教育上の業績がある者 ③前各号の該当者と同等以上の学識経験を有すると認められる者 B おもに日本古典文学を専門的に研究し、その分野の授業を担当できる者 C 高等学校または高等教育機関で授業経験を有する者 D 高等学校教諭普通免許状(国語)を有する者
選考	・第1次 書類による選考 提出書類 ①履歴書(本学所定) ②教育研究業績書(本学所定)およびそれらの成果を証明するもの5点(コピー可)。 ③担当予定科目(「作品論ⅠA」と「日本文学史概論」の2科目)についての授業計画書(90分15回を想定。A4判 様式自由) ④学位記のコピーまたは修了証明書 *所定様式は、公募のURL (http://www.kobegakuin.ac.jp/adoption_staff/information/1641bgk.html)よりダウンロードしてください。 書類提出締切日 2015年8月3日(月)必着 ※書類選考の結果は、2015年8月中旬までに通知します。 ・第2次 面接および模擬授業による選考 面接会場:神戸学院大学 有瀬キャンパス 面接日:2015年8月25日(火) ※面接場所・時間等については、書類選考結果を通知する際にお知らせします。 ※面接に際しては、国内に限り「神戸学院大学旅費支給内規」による交通費を支給します。 ※選考の結果は、2015年11月上旬までに通知します。
書類提出先	〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬 518 神戸学院大学人文学部長室 宛 ※封筒に「文学・文芸領域採用人事」と朱書きし、書留郵便で送付してください。
問い合わせ先	神戸学院大学人文学部長室 E-mail : jinji2015@human.kobegakuin.ac.jp ※メールの件名に用件と領域名(文学・文芸領域)を必ず明記してください。 【例:履歴書ダウンロードの件(文学・文芸領域)/面接について(文学・文芸領域)】 ※問い合わせは6月25日より受け付けます(ただし、土日祝日および8月11日～19日は、事務休業のため返信はできません。)

口大文第59号
平成27年5月28日

関係大学長
関係機関の長 殿

山口大学人文学部長
根ヶ山 徹
(公印省略)

教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび本学部では、下記の要領により教員を公募することになりました。

つきましては、ご多用中誠に恐縮でございますが、貴機関関係者の方へご周知いただきますようよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 所属講座 人文学部欧米言語文学講座
2. 採用職名・人員 教授または准教授または講師（専任） 1名
3. 専門分野 英米文学（アメリカ文学関連の授業を担当できること）
4. 担当授業科目

学部：アメリカ文学史、アメリカ文学に関する演習・講読・特殊講義、
文学（1年生対象）、英語中級（英会話・英作文）など

大学院：英米文学論、英米文学論演習

共通教育：英語諸科目

*上記のすべての科目を毎年度担当するというものではありません。

*山口大学人文学部および人文科学研究科では、平成28年度を期してカリキュラム改編を計画しており、所属講座の名称や担当科目が将来変更もしくは追加される可能性があります。

5. 応募資格

次の(1)～(5)の条件をすべて満たしていること

- (1) アメリカ文学を研究対象とする者
- (2) 当該分野あるいは関連分野において博士学位または Ph.D.を有するか、それと同等の研究業績と能力を有する者
- (3) 母語を日本語あるいは英語とする者（国籍不問。英語母語話者の場合は、授業やその他の業務に支障ない日本語運用能力を有していること）
- (4) 学部・研究科および大学の運営業務（入試業務を含む）に携わる能力及び熱意

を有する者

(5) 採用後、山口大学吉田キャンパスに通勤可能な地域に居住できる者

*日本の高等教育機関における教育経験（常勤もしくは非常勤）を有することが望ましい。

6. 採用予定年月日 平成28年4月1日

7. 応募期限 平成27年8月7日（金）必着

8. 提出書類（書類(1)(2)(4)(5)は、A4用紙で作成すること）

(1) 履歴書（写真貼付） 1通

*学歴は、高校卒業時以降を記載してください。

*教育経験（非常勤講師を含む）を有している場合は、履歴書の職歴記載欄に、担当した科目名なども記入してください。

(2) 研究業績一覧表（別紙様式） 1部

(3) 主要研究業績（現物または抜刷。コピーも可） 3点・各3部

(4) 主要研究業績要旨 1部

((3)の各業績について日本語 400字程度の要旨を記したもの。様式は自由)

(5) これまでの経験を踏まえた今後の研究・教育に向けた抱負を、1,000字程度の日本語で書いたもの

(6) 取得学位の学位記の写しもしくは学位証明書

9. 選考方法

書類審査による第一次選考の後、面接（20分間程度の模擬授業を含む）を行います。面接のための来学費用は申請者が負担するものとします。

また、選考過程で追加の資料提出を求めることがあります。

10. 応募書類提出先

〒753-8540

山口県山口市吉田1677-1

山口大学人文学部総務企画係

欧米言語文学講座人事担当 宛

11. 問い合わせ先

山口大学人文学部総務企画係

電話：(083) 933-5200 (代表)

E-Mail : hc143@yamaguchi-u.ac.jp

*封筒の表に「欧米言語文学講座教員応募書類在中」と朱書し、「簡易書留」や「レターパック」、「宅配便」など、受領確認ができる配送手段で送付してください。

*応募書類により取得する個人情報、採用者の選考、及び採用の手続きに利用するものであり、この目的以外で使用することはありません。

*応募書類は、原則として返却いたしません。

山口大学は教職員の仕事と家庭の両立支援に力を入れて取り組んでいます。

・「やまぐち男女共同参画推進事業者」の認証（平成25年9月11日）

・「やまぐち子育て応援優良企業表彰」の受賞（平成25年10月19日）

The Faculty of Humanities at Yamaguchi University invites applications from suitably qualified persons of any nationality or ethnic background for the tenured post of Professor / Associate Professor / Lecturer in the field of American Literature.

Title: Professor (Kyoju), Associate Professor (Jun-Kyoju) or Lecturer (Sen'nin-Koshi)

Content of job information :

- (1) Teaching American Literature and other related subjects for the Faculty of Humanities and the Graduate School of Humanities
- (2) Teaching English proficiency skills for the Faculty of Humanities
- (3) Teaching TEFL courses of the General Education program
- (4) Participation in required educational and administrative duties normally undertaken by faculty members, including the work concerning the Admission Examinations

Number of positions: 1

Date of appointment: April 1, 2016

Work location: Yoshida Campus, 1677-1 Yoshida, Yamaguchi-shi, Yamaguchi Prefecture, JAPAN

Requirements:

- (1) Field of expertise: American Literature and/or English Literature
- (2) Ph.D. or equivalent in a relevant field
- (3) Native speaker of English or Japanese
- (4) Good command of the Japanese language

*English teaching experience (part-time or full-time) at the college/university level in Japan is preferred.

*The successful candidate is expected to live in the area of Yamaguchi after April, 2016.

Documents to be submitted for application ((1)(2)(4) and (5) should be prepared with A4-size sheets of paper):

- (1) Curriculum vitae with an indication of college/university courses currently or previously taught by the candidate
- (2) A list of publications with indication of whether the journal was refereed or not
- (3) Three copies (either offprints or photocopies) of three major publications
- (4) Abstracts in Japanese of the three major publications (each approximately 400 letters in length)
- (5) An essay in Japanese on your educational and research philosophy (approximately 1,000 letters in length)
- (6) A photocopy of the applicant's M.A. and/or Ph.D. diploma or its certificate

The above documents should be sent either by registered postal mail or other home delivery service.

*Write in red ink "Application: American Literature" on the envelope.

Address for submission of documents:

Faculty of Humanities

Yamaguchi University

1677-1 Yoshida, Yamaguchi-shi, Yamaguchi Prefecture

753-8540 JAPAN

Notes:

- (1) Application documents will not be returned.**
- (2) The applicants may be asked to submit other documents considered necessary by the personnel committee.**
- (3) After the screening is completed, the selected applicants will be asked to come to the Yoshida Campus for interview. The candidates will not be reimbursed for their travel expenses. During the interview, the candidates are to present a 20-minute mock lecture for students on a subject of their choice in the field of American Literature Study.**

研究業績一覽表

* 著書・論文・参考は、それぞれ別葉にて作成願います。

[illegible]

平成 27 年 6 月 17 日

関係各位

立正大学文学部

学部長 齊 藤 昇

(公印省略)

教員の公募について（依頼）

拝啓

時下ますますご清栄のことと、およろこび申し上げます。

このたび、立正大学文学部文学科日本語日本文学専攻コースでは、別紙の通り専任教員を公募することになりました。

ご多忙のところまことに恐縮いたしますが、該当する方々に周知くださいますようお願い申し上げます。

敬具

※今回の公募に関しましては、本学文学部ホームページ及び国立行政法人科学技術振興機構ウェブサイト（JREC-IN）に資料をアップいたしております。

<公募情報の詳細>

本学文学部ホームページ

<http://letters.ris.ac.jp/>

JREC-IN

<https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop>

求人公募情報 検索

平成27年6月17日

関係各位

立正大学文学部

学部長 齊藤 昇

(公印省略)

教員の公募について (依頼)

拝啓

時下ますますご清栄のことと、およろこび申し上げます。

さて、このたび立正大学文学部文学科日本語日本文学専攻コースでは、別紙の通り専任教員を公募することになりました。つきましては、貴大学・研究機関関係者にお知らせいただくとともに、適任者の推薦について、よろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職階・人員： 教授 1名
2. 専門領域： 漢文学
3. 採用予定日： 平成28年4月1日
4. 任期・定年： 満70歳に達した年度末
5. 待遇・給与： 本学園給与規程による
6. 応募資格： (1)博士の学位を有する方、またはこれと同等以上の研究業績があると認められる方
(2)担当科目および関連分野に関する学術業績を有する方
(3)学部および、大学院博士課程前期・後期課程の研究指導が可能な知見を持つ方で、採用予定日に着任可能な方
7. 担当科目： (1)学部担当科目：「東洋古典文学概論」「東洋古典文学講読」「総合演習」など
(2)大学院担当科目：「日中比較文学特講」など
※上記(1)、(2)の授業を担当
8. 応募書類： (1)履歴書 (写真貼付) 1部
※本学所定の様式を使用してください。様式、記入要領、記入例を本学文学部ホームページ (<http://letters.ris.ac.jp/>) よりダウンロードしてください。
(2)研究業績書 1部 (様式は履歴書に含まれています)
※主要な著書・研究論文などから代表的なものを3点以内。研究論群は抜き刷り、コピー等可
9. 提出先： 〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16
立正大学文学部事務室気付 文学部長 齊藤 昇 宛
※封筒の表に「文学部文学科専任教員応募書類在中」と朱書し、書留または宅配便で送付してください。
※提出いただいた書類等は原則返却いたしません。審査終了後、適正に廃棄処分させていただきます。ただし、返却をご希望の場合は、その旨を明記した書類および返信用封筒 (宛名明記の上、切手または宅配便の着払い伝票を添付) を同封してください。
※応募書類は、本件採用人事の選考以外の目的に使用することはありません。
10. 提出期限： 平成27年8月15日 (土) 当日消印有効
11. 問合せ先： 立正大学文学部事務室 事務長 若島 大輔
Tel03-3492-8791 E-mail: let@ris.ac.jp
12. その他： <選考内容・結果通知方法>
(1) 審査の最終段階で面接を行うことがあります。その際の交通費等は応募者の負担となりますのでご了解ください。
(2) 選考結果については、平成27年10月末日までに本学からの連絡がない場合は、今回の公募に関して、ご縁がなかったものとお考えください。

以上

平成27年6月15日

関係機関長および関係各位

京都大学防災研究所長

寶 馨

教員の公募について

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当研究所は「災害に関する学理の研究及び防災に関する総合研究」を目的とする全国共同利用の研究所であり、5研究部門・6附属研究センターによって構成されています。平成22年度より、「自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点」に認定され、より広範な共同利用・共同研究を推進しております。

このたび、下記の通り教員を公募することになりました。つきましては、ご多用のところ、まことに恐縮ではございますが、関係各位の皆様方にご連絡いただくとともに、適任者の応募についてよろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職 種： 准教授
2. 募集人員： 1名
3. 勤務場所： 総合防災研究グループ 巨大災害研究センター 巨大災害過程研究領域
(所在地：宇治市五ヶ庄)
4. 職務内容：
総合減災システムの確立をめざして、巨大災害の被害の軽減に資する理論的かつ実践的研究を、土木計画学的立場から強力に推進する。特に、巨大災害のリスク軽減に関する研究をリスク・ガバナンスの観点にたって、学際的かつ国際的に進める。また、京都大学大学院情報学研究科社会情報学専攻の教育を担当する予定である。
5. 資 格 等： 博士の学位を有すること。
国籍は問わないが、日常的に日本語が使えること。
6. 採用予定日： 選考後できるかぎり早い時期
7. 任 期： なし
8. 勤務形態： 専門業務型裁量労働制（週38時間45分相当、1日7時間45分相当）
休日：土・日曜日、祝日、年末年始、創立記念日及び夏季休業日
9. 給与・手当等： 本学支給基準に基づき支給
10. 社会保険： 文部科学省共済組合、雇用保険及び労災保険に加入

1 1. **応募方法：** 次の (1)～(6) 各一式

- (1) 履歴書
- (2) 研究業績一覧（査読付き論文とその他の論文、著書、解説、報告などに区分けしたもの）
- (3) 主要論文別刷（コピー可）5 編
- (4) 研究業績の概要（A 4 用紙 2 枚以内）
- (5) 今後の研究計画及び抱負（A 4 用紙 2 枚以内、説明図の利用可：これまでの実績を踏まえてどのような研究を行うか、応募者の考えを示すこと）
- (6) 推薦書（または、応募者について意見を伺える方 2 名の氏名と連絡先）

1 2. **書類提出先：**

〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学防災研究所担当事務室 気付
巨大災害研究センター 巨大災害過程研究領域 准教授候補者選考委員会 宛
（封筒の表に「教員応募書類在中」と朱書し、郵送の場合には書留にすること）

1 3. **応募締切：** 平成 2 7 年 9 月 1 5 日（火）【必着】

1 4. **選考方法：** 書類選考のうえ、必要に応じて面接を行います。面接等の詳細は、別途連絡します。

1 5. **問い合わせ先：**

〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学防災研究所担当事務室 気付
巨大災害研究センター 巨大災害過程研究領域 准教授候補者選考委員会 宛
e-mail:apply_staff@dpri.kyoto-u.ac.jp
（封書あるいは電子メールに限る）

1 6. **その他：**

応募書類に含まれる個人情報は、選考および採用以外の目的には使用しません。
なお、京都大学は男女共同参画を推進しています。多数の女性研究者の積極的な応募を期待しています。

巨大災害研究センターの概要

1. 研究目的及び研究内容の概要

巨大災害研究センターは、巨大災害による被害の軽減に関する研究を、自然科学と社会科学を融合した視点から進めています。これは、近年の巨大災害が、自然のハザードに起因する直接被害のみならず、人生や生活の破壊、地域文化に対する打撃、経済被害など、間接被害をも甚大化させている点、すなわち、巨大災害が人間社会を破壊する点を踏まえたものです。

こうした視点にたって設置された巨大災害研究センターは、巨大災害過程研究領域、災害情報システム研究領域、災害リスクマネジメント研究領域、国際情報ネットワーク研究領域（外国人客員）、歴史災害史料解析研究領域（客員）、地域災害研究領域（客員）、以上6つの研究領域を有し、総合的、学際的、かつ長期的な視点に立った防災・減災研究を推進しています。

巨大災害過程研究領域

本研究領域の研究テーマは、「総合減災システムの確立と実践的防災学の構築」です。安全・安心な社会を実現するために、巨大災害による被害を軽減するための研究を、社会科学・自然科学を融合して行っています。特に、社会科学の立場からは、災害情報、防災教育、災害文化のあり方を提案し、真に「実践的な」防災学とは何かを探っています。

災害情報システム研究領域

社会現象としての災害学理の究明と、効果的な防災の実現を目標としています。とくに、災害発生後の社会の対応を情報処理過程としてとらえて、効果的な災害対応を可能にするための社会のしくみの構築・情報システムの開発を目指して、災害時の人間の心理過程や行動の理解、防災担当組織の効果的な対応、地域社会全体の災害からの立ち直り（レジリエンス）という3つの領域で実証的に研究しています。

災害リスクマネジメント研究領域

本研究領域は、巨大災害がもたらす被害の軽減を理工学と社会科学が協同して取り組むべき研究課題としてとらえ、そのための研究をリスクマネジメントの観点から行っています。また、この研究課題を、都市や地域、国土などの総合的なリスクマネジメントの一環と位置づけ、学際融合的かつ国際的な研究領域として発展させることを目的として多角的な研究を推進しています。

このほかに、下記の2つの客員部門と1つの外国人客員部門があり、上記の3研究領域でカバーできない研究領域を有機的に補完する活動を担っています。

歴史災害史料解析研究領域（客員）

地域災害研究領域（客員）

国際情報ネットワーク研究領域（外国人客員）

2. 現在の教員構成

平成27年6月1日現在の教員構成は以下のとおりです。

巨大災害過程研究領域：	教授 矢守克也 准教授 (今回公募) 助教 鈴木進吾
災害情報システム研究領域：	教授 林 春男 准教授 (選考準備中)
災害リスクマネジメント研究領域：	教授 Ana Maria CRUZ 准教授 横松宗太
情報ネットワーク研究領域：	(外国人客員准教授) Ljubica MAMULA-SEADON
歴史災害史料研究領域：	(客員教授) 矢野桂司 (客員准教授) ハッ塚一郎
地域災害研究領域：	(客員教授) 中谷内一也 (客員准教授) 西野智研

----- 共同利用・共同研究拠点について

個々の大学の枠を超えて、大型の研究設備や大量の資料・データ等を全国の研究者が利用したり共同研究を行う「共同利用・共同研究」のシステム、全国共同利用研究所として、防災研究所は共同利用や共同研究を推進してきましたが、平成20年7月に創設された、文部科学大臣による「共同利用・共同研究拠点」の認定制度により、平成22年度からは、新たに「自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点」として共同利用・共同研究を推進しています。

なお、京都大学防災研究所の詳細は下記のホームページをご参照下さい。

<http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/>

Associate Professor, Integrated Disaster Reduction Systems

The Research Center for Disaster Reduction Systems (DRS) of the Disaster Prevention Research Institute (DPRI), Kyoto University invites applications for an Associate Professor position.

The appointed associate professor is requested to conduct theoretical and practical research related to risk reduction caused by huge disasters, especially, in the field of infrastructure planning and management. He/she is requested to carry out interdisciplinary and international research on disaster risk governance. He/she is also expected to contribute to education in the Department of Social Informatics, Graduate School of Informatics, Kyoto University. The successful applicant is expected to have a Ph.D. or its equivalent and to be proficient in Japanese.

Applicants should prepare the following material:

- (1) Curriculum vitae
- (2) List of publications (divided clearly into refereed journal papers and others)
- (3) Copies of five relevant papers
- (4) Brief summary of research and related contributions (up to two A4 pages)
- (5) Statement of research plans (up to two A4 pages, including figures)
- (6) Recommendation letters or names and contact information of two references (include addresses, fax numbers, and e-mail addresses)

The complete application package must arrive by the deadline of 15 September, 2015 at the following address:

Selection Committee for DRS Associate Professor, Integrated Disaster Reduction Systems
Administrative Office, Uji Campus,
Kyoto University
Uji, Kyoto 611-0011 JAPAN

For inquiries, send an email to apply_staff@dpri.kyoto-u.ac.jp

For more information about DPRI, please visit <http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/>.

Kyoto University is an equal opportunity employer.

求人票

ふりがな	きゅうしゅうぶんかざいけんきゅうしょ	設 立 日	1993年12月20日	
会 社 名	株式会社 九州文化財研究所	代 表 者	徳永 和人	
U R L	http://kyubun.sakura.ne.jp	資 本 金	1000万円	
本 社 所 在 地	〒862-0954	株 式	非上場	
	熊本県熊本市中央区神水1丁目32-19			
	TEL: 096-381-2267 FAX: 096-381-2299			
	最寄駅: JR新水前寺駅		従 業 員 数	25名
事 業 内 容	文化財(埋蔵文化財含む)専門技術の提供 歴史遺産の調査			
営 業 所	熊本本社・長崎営業所・鹿児島営業所・八代営業所			
主要取引先	官公庁・独立行政法人・一般企業			
仕 事 内 容	・埋蔵文化財の発掘調査 ・遺物実測図作成 ・発掘調査報告書作成 ・歴史的文化財の調査(古文書、寺院、墓所、建造物など) ・史跡の整備、活用計画書の作成 ・木、金属、石材などの保存処理 ・デジタルカメラを利用したパソコン編集 ・その他、文化財に関わる業務	初 任 給	熊本県職員の大卒程度に準ずる。 (年齢、経験、能力を考慮の上、優遇します。)	
		各 種 手 当	・通勤手当 ・時間外手当 ・家族手当 ・皆勤手当 ・資格手当	
		賞 与	年2回	
		昇 給	年1回	
勤 務 時 間	8:30～17:30	福 利 厚 生	・各種社会保険完備 ・退職金制度 ・入居初期費用 ・保養所 ・社員研修旅行 ・学会発表等の費用負担(旅費含)	
休 日・休 暇	4週6休 有給制度			
勤 務 地	熊本県熊本市中央区神水1丁目32-19			
求 人 数	若干名			
応 募 資 格	埋蔵文化財に興味と理解がある者。 学芸員、土木施行管理技師、埋蔵文化財調査士、 測量士の有資格者または資格取得予定者優遇。			
選 考 内 容	・書類審査による一次選考の上、諮問を行います。 ・試験日は応募書類を精査後にお知らせします。			
そ の 他	学位取得者をはじめとした文化財調査支援。学際的に調査を行える企業です。			
提出書類等	・履歴書1通(写真添付)、連絡のためメールアドレスを記入してください。 ・研究業績一覧			
書類提出先	人事担当者名: 花岡 興史 担 当 部 署: 研究部 ア ド レ ス: soumu.iso@hyu.bbiq.jp 書類の送付は封書の表面に朱書きで「採用書類在中」と明記して上記の住所、調査部 花岡まで。			